

p1・2

宇部市をおそう津波とは?

津波のことを知ろう!

p3・4

避難で必要となる知識とは?

津波から命を守るために!

p5・6

自分たちのために!

避難地図をつくりましょう!



# 宇部市 津波ハザード マップ

将来発生する可能性が大きい「南海トラフ巨大地震」・「周防灘断層群主部の地震」による津波災害に備えるために「宇部市津波ハザードマップ」を作成しました。

このハザードマップは、津波の特徴、避難についての知識、避難地図作成のススメの順番で解説しています。

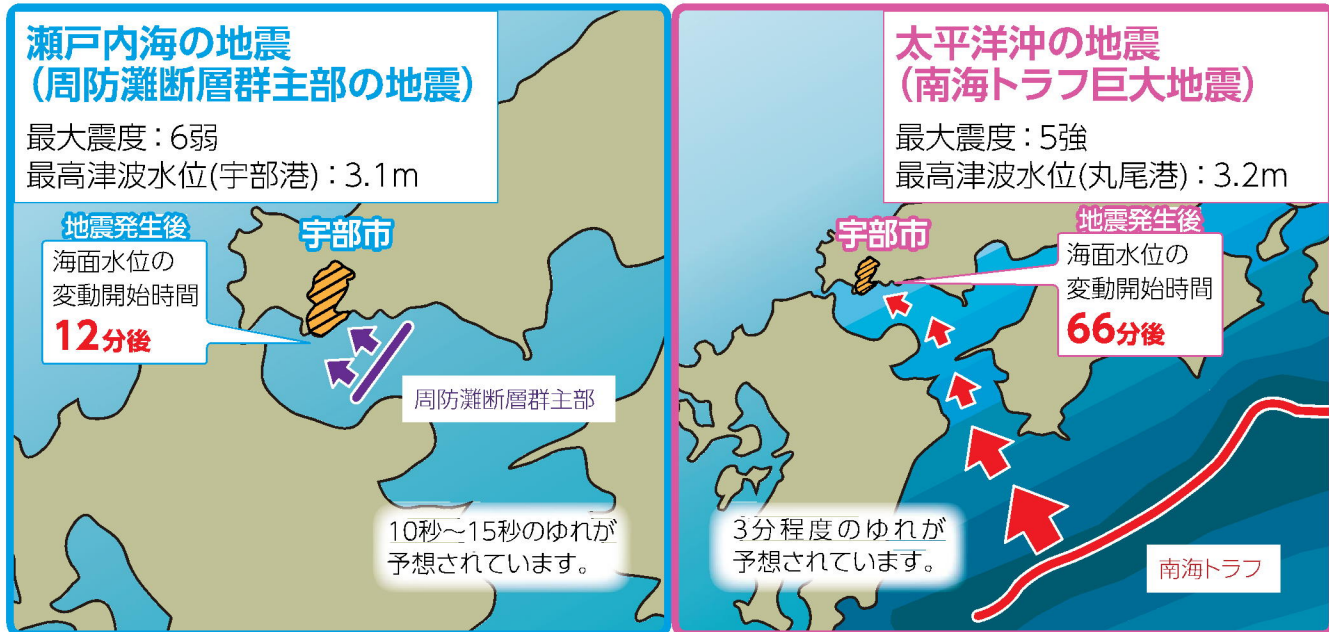
このハザードマップを活用して、いざというときに備えましょう。



# 津波のことを知ろう！

## 発生が予想される地震・津波

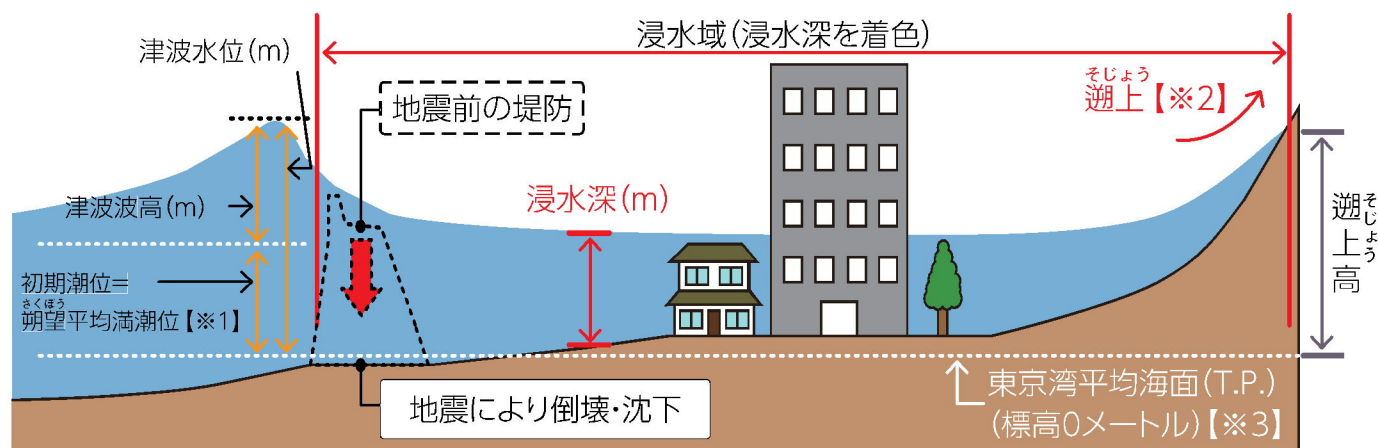
宇部市では津波の発生原因となる2つの地震が予想されています。  
 ※「山口県瀬戸内海沿岸における津波浸水想定」(平成25年12月公表)より。



**海面水位の変動開始時間とは**  
 地震後の海面に±20cmの変化が生じるまでの時間です。  
 あくまでも想定ですので、実際はこの時間どおりになるとは限りません。

## 津波でどこまで浸かるのか

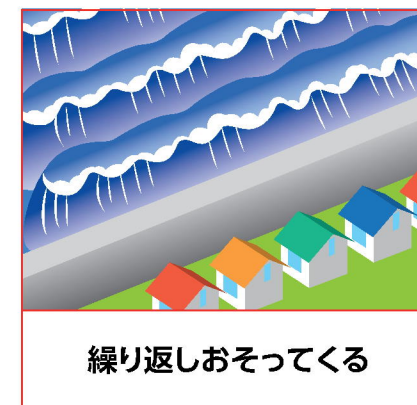
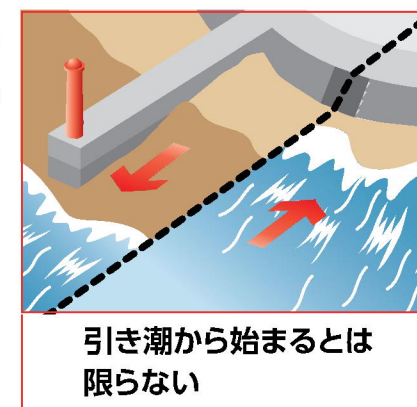
ハザードマップで表示している浸水の範囲と深さは、下の図の通りです。



※1 各月の最高満潮面を1年以上にわたって平均した高さの水位。  
 ※2 水がかけ上がること。  
 ※3 高さや深さの基準は、東京湾平均海面(T.P.)となります。

## 津波の特徴

普通の波が海水の表面だけが動くのに対し、津波は海底から海面まで全ての海水が一気に押し寄せてくるため、大きな破壊力を持っています。津波の特徴を理解しておきましょう。



## もっと知りたい方は下のホームページを参考にしてください！

### ① 南海トラフ巨大地震

内閣府ホームページ  
 「南海トラフ地震対策」  
<http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>



### ② 山口県津波浸水想定

山口県ホームページ  
 「山口県津波浸水想定図について」  
<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a10900/bousai/tsunami-soutei.html>



### ③ 宇部市ゆれやすさマップ

宇部市ホームページ  
 「宇部市ゆれやすさマップ」  
[http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/kenchiku/yureyasusa\\_map/](http://www.city.ube.yamaguchi.jp/machizukuri/kenchiku/yureyasusa_map/)



### ④ 山口県津波災害警戒区域

山口県ホームページ  
 「山口県津波災害警戒区域について」  
[http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami\\_yellow.html](http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a18600/bousai/tsunami_yellow.html)



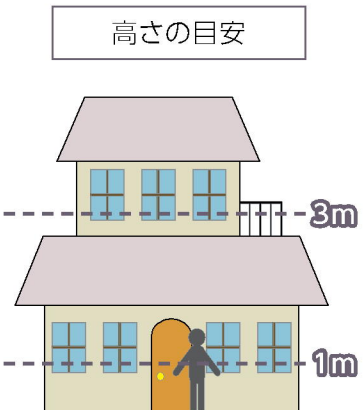


# 津波から命を守るために！

## 注意報・警報の種類

気象庁は、地震が発生した時に地震の規模や位置などを推定して津波の高さを予想し、注意報・警報を発表します。発表を聞いたらただちに避難を始め、ここなら安心と思わずより高い場所を目指して逃げましょう。

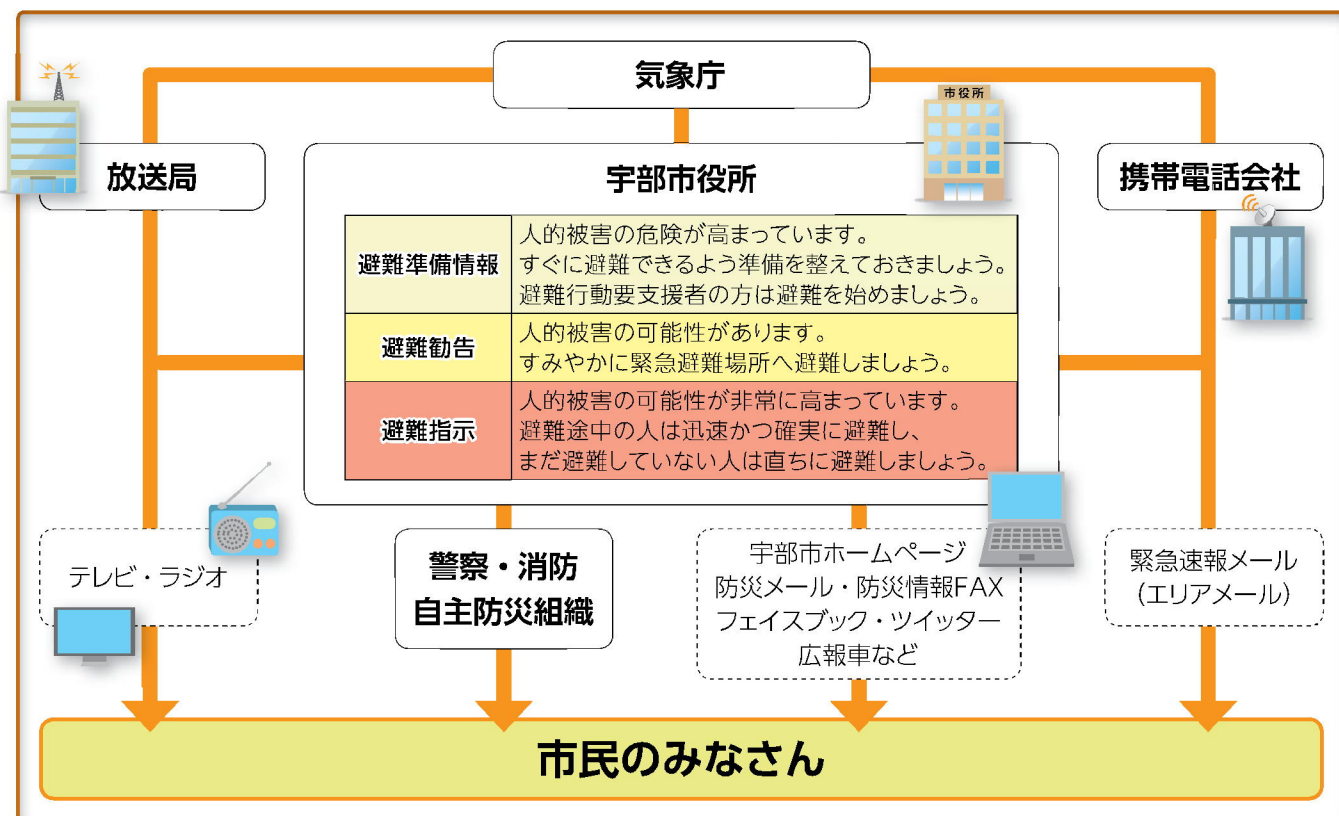
種類	発表される津波の高さ(津波波高)※	
	数値での発表(発表基準)	巨大地震の場合の発表
大津波警報	10m超(10m<予想高さ)	巨大
	10m(5m<予想高さ≤10m)	
	5m(3m<予想高さ≤5m)	
津波警報	3m(1m<予想高さ≤3m)	高い
津波注意報	1m(0.2m≤予想高さ≤1m)	-



※ 1ページ「津波でどこまで浸かるのか」の図の「津波波高」のこと。

## 地震・津波情報や避難情報の伝わり方

日頃から、どのように情報を入手するかよく確認しておきましょう。避難勧告等が発令されていなくても、危険を感じたら早めに避難しましょう。



## 避難するときに注意すること

- 海や川の近くでゆれを感じたら避難
- 警報・注意報が出たらすぐに高台へ！
- 火元や、電気の始末
- 動きやすい服装で
- 荷物は最小限
- 徒歩で避難
- お年寄りなどの避難に協力を
- 遠くよりも高くへ避難
- 逃げ遅れたときは高く丈夫な建物へ
- 避難するときは、海や川の近くなど危険な場所は通らない！
- 自宅へ戻るのは警報解除後

## 非常持ち出し品の準備

日頃から非常持ち出し品をリュックなどに入れ、身近な場所に準備しておきましょう。個人や家族の事情に合わせて必要なものだけを選び、一度背負って両手を自由に動かすことができるか確認しておきましょう。

- 懐中電灯
- お金、預金通帳
- ラジオ
- 常備薬
- 飲料水、非常食
- 携帯電話と充電器
- ホイッスル
- 下着、着替え
- 運転免許証、印鑑、保険証など
- その他必要なもの

※災害時でも公衆電話は通じることがありますので、10円や100円の小銭を用意しておくとう便利です。

## もっと知りたい方は下のホームページを参考にしてください！

### 5 津波の注意報・警報

気象庁ホームページ  
「津波警報・注意報、津波情報、津波予報について」  
<http://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/joho/tsunamiinfo.html>



### 6 宇部市の防災

宇部市ホームページ  
「防災・国民保護」  
<http://www.city.ube.yamaguchi.jp/kurashi/bousai/>





# 避難地図をつくりました！

## 自分たちのための避難地図作成のススメ！

平成23年3月11日に東北地方で発生した大地震による津波では、一部の地域で「津波てんでんこ」を実践し災難をまぬがれた方が多くいました。「津波てんでんこ」とは津波が発生したら家族がてんでんバラバラになっても、とにかく各自でまず逃げるといことです。

「津波てんでんこ」を実践するには、災害が起きたときに家族や知り合いがそれぞれに避難しているということを信じて、自分も避難に徹することが大切です。

そのためにも、ハザードマップの内容をよく理解し、下の「ハザードマップ図面を利用して書き込んでみましょう！」を活用し、事前に緊急避難場所や集合場所、緊急時の行動を話し合いながら、自分たちのための避難地図を作成しましょう。

作成後は、次のページのチェックリストを活用し、最終確認しましょう。

### ハザードマップ図面を利用して書き込んでみましょう！

#### 1 自宅

あなたの自宅に●印を書き込みましょう。

#### 2 避難目標地点

津波の危険からまずは命の安全を確保するための避難の目標とする地点を決め、★印を書き込みましょう。

#### 3 緊急避難場所

災害が起こったときに避難する場所をあらかじめチェックしておき、地図に◎印を書き込みましょう。

#### 4 危険な場所

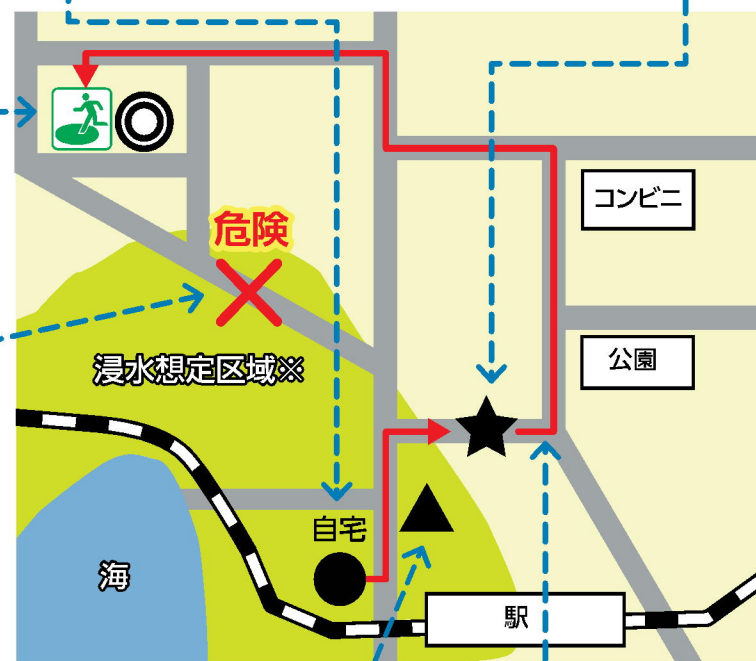
海の近くや浸水想定区域など、津波発生時に危険と思われる場所には×印をつけて、その道は通らないようにしましょう。

#### 5 高くて丈夫な建物

逃げ遅れたときに逃げ込める高くて丈夫な建物に▲印を書き込みましょう。

#### 6 避難経路

避難目標地点までの道順とそこから緊急避難場所までの道順を書き込みましょう。



※浸水想定区域とはハザードマップに着色された浸水のおそれがある区域のこと。



### 作成した避難地図を見ながらチェックしてみましょう！

#### 1 自分の家に印がついていますか。(例：●など)

チェック

自宅周辺の浸水深  メートル

#### 2 避難目標地点に印がついていますか。(例：★など)

チェック

#### 3 緊急避難場所に印がついていますか。(例：◎など)

チェック

浸水範囲や標高10mのラインなどを参考に、より早く避難できる場所を選びましょう。

#### 4 避難時に危険と思われる場所に印がついていますか。(例：×など)

チェック

津波が起きる前には地震が起きています。緊急避難場所までの道に以下のようなところがないか、さまざまな状況を想像しながら実際に歩いて確かめてみましょう。

- ・ブロック塀に囲まれた路地
- ・崖や倒壊しそうな家に挟まれた道
- ・火事になったら逃げにくそうな狭い道
- ・高圧電線が横切っている道
- ・自動販売機や落ちてきそうな看板
- ・その他の危険と思われる場所

#### 5 逃げ遅れたときに避難できる高くて丈夫な建物に印がついていますか。(例：▲など)

チェック

緊急避難場所まで逃げるのができなかった時のために、自宅近くの鉄筋コンクリートなどでできた高くて丈夫な建物をチェックしておきましょう。

#### 6 自宅から緊急避難場所まで行く道に線を描いていますか。(例：— など)

チェック

これまでにチェックしてきた情報をもとにできるだけ危険の無い道を選びましょう。

### 津波避難で大切なこと

- ◆ 津波は自然現象なので、ハザードマップの想定にとらわれない。
- ◆ ここで大丈夫と思わずに、時間があれば少しでも高い所へ避難する。
- ◆ あなたが率先して避難すると、ほかの人もつられて避難する。

# 我が家の防災メモ

津波ハザードマップを活用して家族で話し合い、記入しておきましょう。

## 緊急避難場所

--

## 家族が離れ離れになったときの集合場所

--

## 家族の緊急連絡先

氏名	生年月日	血液型	携帯電話・会社・学校などの連絡先

## うべメールサービス(宇部市防災メール)への登録

宇部市の様々な情報を配信するうべメールサービス(宇部市防災メール)に登録しておく、いち早く宇部市の災害や避難に関する情報を受け取ることができます。

登録方法は宇部市のホームページ、または「総務管理部 防災危機管理課」までお問い合わせください。



## 安否情報の確認

### 災害用伝言ダイヤル171 忘れてイナイ(171)? 災害伝言171 など覚えてください

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって伝言の録音・再生をしてください。



#### 伝言を録音する場合

1 ⇒ (〇〇〇〇) □□-□□□□ ⇒ 伝言を吹き込む

被災地の人は自宅の電話番号を、被災地以外の方は被災地の人の電話番号を市外局番から入力

2 ⇒ (〇〇〇〇) □□-□□□□ ⇒ 伝言を聞く

#### 伝言を再生する場合

## 携帯電話用「災害用伝言板サービス」

災害発生時などには、携帯電話やスマートフォンなどを利用して安否情報を登録でき、家族や友人の安否情報をインターネットを通じて確認することができます。

詳しい使用方法是各携帯電話会社のトップメニューから「災害用伝言板」などへアクセスして確認しておきましょう。

これらのサービスは災害時以外でも以下の期間で体験することができます。

- 毎月「1日」「15日」(午前0時～午後11時59分)
- 正月三が日(1月1日正午～1月3日午後11時)
- 防災週間(8月30日～9月5日)
- 防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)

宇部市津波ハザードマップの  
お問い合わせはこちら

総務管理部 防災危機管理課  
TEL (0836) 34-8139 / FAX (0836) 29-4266